

# 平和運動フォーラム石狩地域協議会

平和運動フォーラム  
石狩地域協議会

〒060-0806  
札幌市北区北6西7

村上 真仁

TEL:011-747-1880

復帰  
40年

5.15  
沖縄平和行進

## 静かな生活を返せ!

### 延べ6千人 怒りの拳

この行進は沖縄が復帰した5月15日を中心に、全国から参加者が結集し、沖縄戦の歴史を学びながら3コースに分かれて「基地のない沖縄」を発するデモ隊3日間で述べ6000人が参加した。II宜野湾市役所前

この行進は沖縄が復帰した5月15日を中心に、全国から参加者が結集し、沖縄戦の歴史を学びながら3コースに分かれて「基地のない沖縄」を発するデモ隊3日間で述べ6000人が参加した。II宜野湾市役所前



を訴え、デモや集会を行い、反戦反基地めざして毎年開催されている。北海道参加団は11日から行動し、沖縄南部に点在する戦跡で歴史などを学んだ。平和行進は12日からスタートし「西コース」に参加、沖縄市役所を出発して広大な米軍嘉手納基地などをフェンスに沿って行進、続いて13日

昨年からの全国で展開されている「さようなら原発1000万人アクション」に関連し、現在、北海道段階では全国署名の集約数が35万筆弱で、目標の50万筆にはまだ到達していない状況にある。

しかし、世論は「脱原発」にシフトしつつあり、福島の実状からも、継続して取り組むことが重

## 脱原発 地域から再発信



### 命の重さ 格差許さぬ

憲法記念日の5月3日、5・3北海道

### 管内4地区で市民レベル

組を中心に管内4地区の各駅頭で署名行動を展開、行き交う市民に改めて「脱原発」を訴えた。署名

要とし、北海道平和運動フォーラムは署名の集約延長と全国一斉行動を提起した。これを受けて石狩地域協議会でも5月19と20の両日、北教

本剛政治部長を招いて講演を受けた。松本氏は「民主主義の成熟度問う沖縄問題・命の二重基準と憲法理念」と題して基地問題を中

○事務局長より  
琉球新報松本氏の講演で「命の重さに格差がある」との指摘がありました。この状況は基地も原発も同じです。特に子どもに命に格差をつけることは絶対に許されません。(む)

に於じた市民からは「子どものために協力します」との声も聞かれ、2日間で80筆の署名を集約した。

世界に広める運動を進める」としたアピールを採択し終了した。



講演する琉球新報 松本氏  
基地問題などの企画で数多くのジャーナリズム賞を受賞  
心に沖縄の現状を説明、米本国では可能な運用が平然と行われ、両国民の命の重さに格差が生まれており、こうした現状は極めて問題であると指摘した。  
集会の最後に「政府が進める動的な日米防衛協力強化を許さず、「戦争をする国づくり」を進めようとする動きに改めて平和憲法の意義・大切さを再認識し、世界に広める運動を進める」としたアピールを採択し終了した。